

令和6年5月31日



学校だより 6月号



横浜市立市場小学校 Tel.(581)2107 FAX(581)9387

けやき分校 Tel.(580)0105 FAX(580)0135

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/ichiba/>

分校の日常

副校長 右橋 康彦

市場小では年に数回、副校長が学校の巻頭言を担当することがあります。今月号は普段けやき分校に勤務している私、右橋が担当させていただきます。

けやき分校は住宅街から少し離れた鶴見川沿いに立っています。また、幹線道路から少し奥まった場所であり、両隣は「元宮さわやか公園」と「鶴見スポーツセンター」に挟まれていることもあって、日中はとても静かな環境です。時々、校舎前にある「ねむの樹元宮保育園」から小さい子どものにぎやかな声が聞こえ、とても癒されます。

この分校に今年も5年生が移ってきました。4月には緊張した顔が見られたり、登校時刻に間に合わず遅れてくる児童もいたりしましたが、今ではすっかり分校に慣れ、人工芝と弾むタータントラックの校庭で遊ぶ姿が見られます。先日、「5年生を迎える会」が行われました。体育館に5・6年生が一堂に集い、6年生主催で会が行われました。分校紹介クイズや6年生から5年生へのエールなど、高学年の集えらしい、工夫と迫力のある会となりました。会の終わりには重田校長から5・6年生に対して、よいことも悪いことも誰かのせいせず、市場小の高学年として主体性をもって学校生活に臨むよう話がありました。



学習面では本校と分校で違うこともあります。5年生から家庭科が始まることや授業の一部が教科担当制で行われることなどです。家庭科の学習では、早速、青菜をゆでる学習が行われ「料理を作るのは大変だ。家の人に感謝したい。」という声がかれました。自分で茹でた青菜に醤油をかけておいしそうに食べる顔は、見ていて嬉しくなりました。英語の学習では、横浜の小学校では数少ないラウンドシステムを取り入れています。システムの詳しい内容は担当から発行されている「外国語科通信」をご覧いただきたいのですが、私がメリットとして感じていることは、英語を使う恥ずかしさが減ることと、一人一人が考え、言葉を選んで会話ができるようになっていくことです。6年生の英語の授業冒頭では、何気ない情報交換を英語で行っている姿を見かけます。

市場小の学校教育目標では、『命を大切に、人には思いやりの気持ちを持ち、集団の中で自分を創りだせる子どもを育てます。』と掲げています。これからも一人一人が主体的に活動できるよう取り組んでいきます。今後も学校への温かいご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。